

## 津市立雲出幼稚園の利活用に係る検討について

## 1 経過等

平成30年4月から休園となった雲出幼稚園は、4歳児以上を対象として雲出地区における幼児教育を担ってきましたが、平成18年1月の市町村合併以降は、他地区の幼稚園利用が一部可能となったことや当該地区における就学前の子どもの減少などが要因となって園児数の減少が続き、平成30年度において入園申込みがなかったことから休園に至りました。

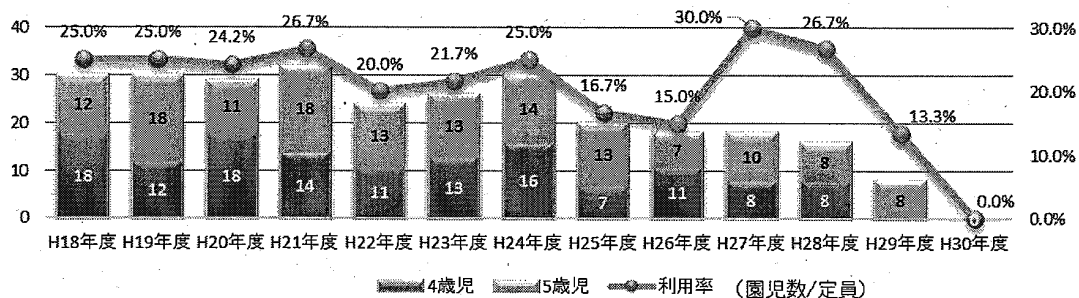
このことより、市教育委員会と今後の方針の検討を進めていたところ、地域から雲出幼稚園の利活用について要望を頂いたことから、その点も踏まえて以下のとおり検討を行いました。

## 2 雲出地区における就学前の子どものための施設の状況

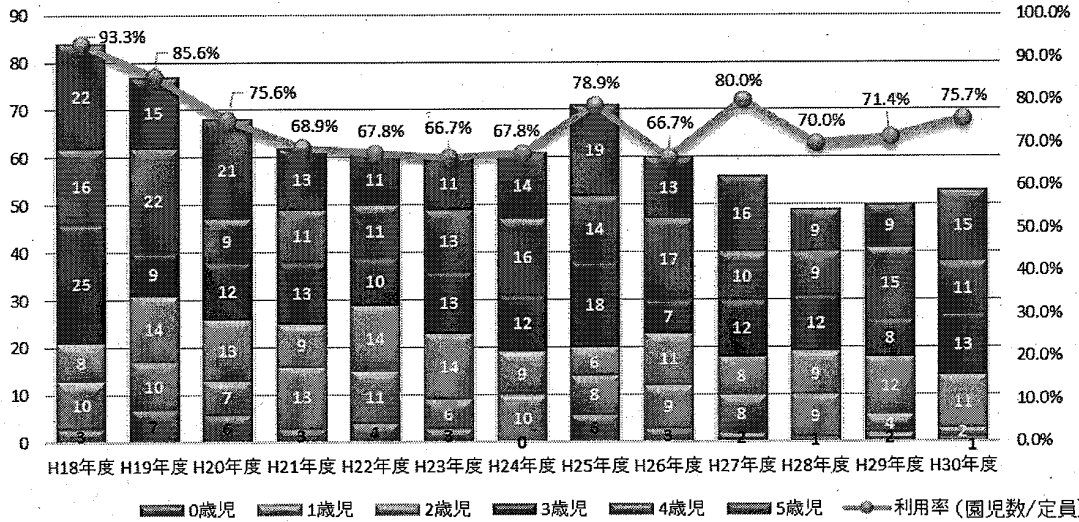
雲出地区においては就学前の子どものための施設として、これまで雲出幼稚園、雲出保育園及び風の子藤水保育園（平成30年4月から幼保連携型認定こども園へ移行）が設置・運営されてきました。

そのうち、本市が管理する雲出幼稚園は上記1の経過等のとおり平成30年4月から休園し、雲出保育園は、子ども・子育て支援新制度が施行された平成27年度から、保育環境の改善とこれまでの利用実績を踏まえ、認可定員90人に対して利用定員を70人に減じて運営しています。

雲出幼稚園の園児数推移



### 雲出保育園の園児数推移



(1) 雲出幼稚園の概要

昭和43年に津市立雲出小学校の校舎内において開園した後、昭和49年に、同小学校と敷地を共有する現在の場所に移転しました。施設は国道23号から約400mで海拔約1.9mに位置しています

(2) 雲出保育園の概要

昭和45年に建築された園舎は、築後48年を経過しています。施設は雲出古川河口部から約300mで海拔約0.7mに位置しています。

(3) 施設の概要

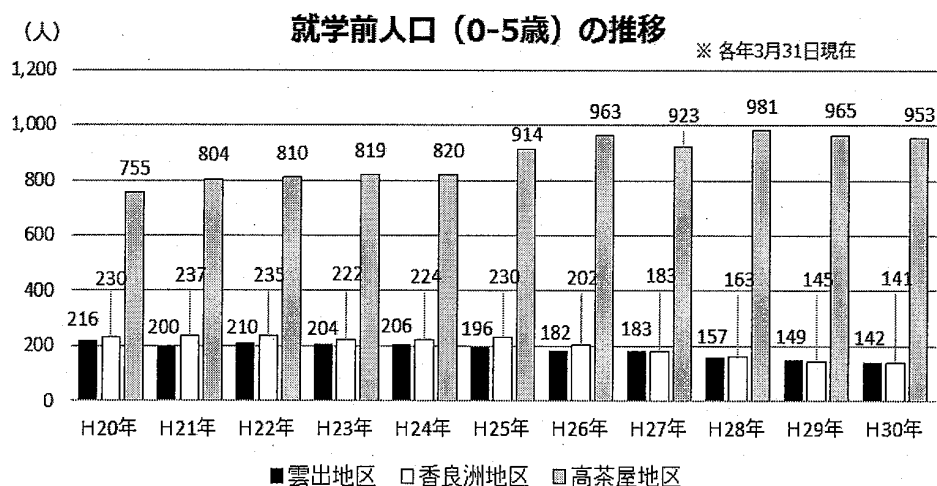
項目	雲出幼稚園	雲出保育園
所 在	雲出本郷町1165番地	雲出伊倉津町1473番地3
敷地面積	3,575㎡ (雲出小学校と共有)	1,438㎡
建 物	鉄筋コンクリート造平家建て	鉄筋コンクリート造平家建て
延床面積	745㎡	418.25㎡
建 築	昭和49年3月(築45年)	昭和45年3月(築48年)
定 員	認可定員120人 利用定員60人	認可定員90人 利用定員70人

3 雲出地区における就学前の子どもの状況

平成24年度までは200人を超える人口でありましたが、平成25年度以降は減少傾向で推移しています。

なお、雲出地区の南に位置する香良洲地区は、平成25年度までは230人程度の人口で推移してきましたが、平成26年度以降は減少傾向に転じています。

一方、雲出地区、香良洲地区より内陸部に位置する高茶屋地区では、従前より人口が増加しており、平成25年度以降は拡大の傾向にあります。



#### 4 雲出地区の子どもの施設利用状況

平成30年度は雲出地区の就学前子ども142人のうち、94人が保育所、幼稚園及び幼保連携型認定こども園の就学前施設を利用しています。そのうち、保育利用（2号認定及び3号認定）が78人と大きく占めており、教育利用（1号認定）は16人となっています。

就学前施設利用者94人のうち、48人（約53%）は雲出地区内の施設を利用しています。

また、隣接する香良洲地区の津市立香良洲浜っ子幼稚園を保育利用する子どもは11人で、教育利用する子どもは9人、同じく高茶屋地区の保育所を11人が利用しています。

雲出保育園の年齢別のクラスにおいては、利用者数が利用定員に達している場合もある一方で、施設全体での利用状況を見た場合には、最も利用者数が多くなる年度末においても、過去3年間、利用定員に達していない状況にあります。

また、平成30年4月から幼保連携型認定こども園へ移行した風の子藤水保育園は、利用定員90人に対して過去3年間の平均利用者数（年度末時点）は、利用定員を超えた約100人となっています。

### 雲出地区の就学前人口（年齢別）の推移

※ 各年3月31日現在（人）

	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
0歳	31	32	38	29	28	27	28	27	18	23	21
1歳	38	30	33	36	32	27	24	29	27	17	24
2歳	37	39	32	29	39	32	30	25	25	28	16
3歳	31	35	40	34	30	41	32	31	25	26	27
4歳	35	32	34	42	35	33	38	33	30	26	27
5歳	44	32	33	34	42	36	30	38	32	29	27
計	216	200	210	204	206	196	182	183	157	149	142

### 雲出地区の就学前子どもの地区別利用状況

（人）

利用区分	認定区分	雲出地区	香良洲地区	高茶屋地区	その他	計
教育	1号認定子ども	-	9	-	7	16
	2号認定子ども	39	8	5	2	54
保育	3号認定子ども	9	3	6	6	24
	計	48	20	11	15	94

### 雲出地区の保育園の利用状況

#### 雲出保育園

※ 各年8月1日現在（人）

	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	利用率
H27年度	70	3	9	9	9	10	13	53	75.7%
H28年度	70	3	10	10	12	10	7	52	74.3%
H29年度	70	3	5	12	12	15	11	58	82.9%

#### 風の子藤水保育園

※ 各年8月1日現在（人）

	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	利用率
H27年度	90	6	15	18	20	20	20	99	110.0%
H28年度	90	9	15	18	20	19	19	100	111.1%
H29年度	90	9	15	18	20	20	20	102	113.3%

## 5 雲出地区における就学前施設の課題

### (1) 1号認定子どもの利用実態

現在の雲出地区及び周辺施設の利用状況から、1号認定子どもは、市町村合併以降、旧津市立香良洲幼稚園（現香良洲浜っ子幼児園）を中心に施設利用が進んでいます。

このような中、本年度、雲出幼稚園が休園となったものの香良洲浜っ子幼児園及び風の子藤水保育園の1号認定子どもの利用者数がそれぞれ利用定員に達していないことや、雲出地区における現2歳児は既に保育利用者が多数であること等を踏まえると、今後も雲出地区の幼児教育の提供については、引き続き香良洲地区との一体的な提供体制を整えていく必要があ

ります。

(2) 2号認定子ども・3号認定子どもの利用実態

雲出地区における就学前子ども142人のうち、78人が就学前施設において保育を利用しています。年齢別の保育利用率は0歳児の19%に対し、1歳児では約46%まで大きく上昇し、その後も2歳児で約56%、3歳児以上では約63%から約70%と利用率が高まっています。

また、同様に雲出地区の保育施設を利用している同地区の子どもの割合も3歳以上から高くなっており、就学に備えた地域での保育ニーズの高さが見られます。

**雲出地区の子どもの保育施設利用状況**

※平成30年4月1日現在

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
就学前子ども(人)	21	24	16	27	27	27	142
保育を利用する子ども(人)	4	11	9	19	18	17	78
雲出地区	2	5	2	13	11	15	48
香良洲地区	1	-	2	4	2	2	11
高茶屋地区	1	1	4	1	4	-	11
その他地区	-	5	1	1	1	-	8
保育利用率(%)	19.0%	45.8%	56.3%	70.4%	66.7%	63.0%	54.9%

(3) 雲出保育園の課題

建築から48年を経過した雲出保育園の施設は、他の保育施設と比べ、沿岸付近の立地環境の影響と思われる錆による腐食や傷みなどの劣化も多く見られ、これまでも修繕を重ねてその機能を維持し運営してきたものの老朽化は顕著であります。また、当園は海拔約0.7mに位置しており、発災のおそれがある南海トラフ地震による津波からの避難においては、当園から津波避難ビル(津市雲出地区防災コミュニティセンター)までの約700mの距離を保育士が乳児を含む園児を引率し避難を行います。平常時の訓練とは異なり地震発生直後の経路は、避難行動に支障をきたす状況になることも想定され、迅速で安全な避難に対して懸念があります。

当園利用者においても、近年、津波に対する地理的な不安は高くなっており、新規利用申込時においては、同様の理由を危惧し当園の利用を除外する例もあるなど、以前より防災面での環境改善は課題となっています。

6 今後の雲出地区の子どものための就学前施設の在り方

(1) 雲出幼稚園の利活用

同園の施設は、耐震基準も満たした鉄筋コンクリート造であり、今後も

適確な維持管理を行うことで長寿命化を図られる建物と考えます。立地環境においては国道23号に近接し、交通アクセスにも優れ、隣接している雲出小学校との連携も容易に図られることや同小学校は津地域指定避難所及び津波避難ビルに指定されていることから、南海トラフ地震発生時の津波からの避難においては、迅速な行動が取れるなど危機管理上の面でも優位な点があります。また、雲出地区の自治会を始め、地域団体などからの雲出保育園に対しての施設老朽化の進行と立地上の防災対策の必要性から早期の移転を望む声も踏まえ、今後の雲出幼稚園の利活用に当たっては、これらの施設状況や立地環境を生かしつつ、雲出地区の保育ニーズに応えるため雲出保育園の移転整備を進めることとします。

なお、同地区における教育ニーズについては、市町村合併によって構築された香良洲地区との一体的な幼児教育の提供体制のもと、隣接する香良洲浜っ子幼稚園の施設利用が進んでいる状況から、現状の連携体制をより充実させることで保護者の希望に応じていくこととします。

(2) 雲出保育園の利用定員等

雲出地区においては、雲出保育園及び風の子藤水保育園並びに隣接地区の香良洲浜っ子幼稚園との連携による保育提供体制を構築し、相互に補完しながら施設利用ニーズに対応していく考えの下、移転後の雲出保育園の利用定員については、雲出保育園の利用の現状、雲出地区の就学前子どもの保育施設利用状況などを踏まえた規模とします。

なお、雲出地区の就学前の子どもの保育利用の一部が隣接する高茶屋地区、さらに久居地域の施設に及んでいる現状に対して、両地区とも利用定員に対して希望者数が著しく超過している状況が続いていることから、これらの子どもにも対応していける受入規模に応じた保育室の環境と職員配置を整備します。

**雲出保育園の利用定員**

[現行]			[移転後] (案)		
	3号認定	2号認定	3号認定	2号認定	
0歳児	6	-	6	-	
1歳児	10	-	10	-	
2歳児	12	-	18	-	
3歳児	-	14	-	20	
4歳児	-	14	-	20	
5歳児	-	14	-	20	
計	28	42	34	60	
	70		94		

### 雲出幼稚園の利活用と利用定員

区分	改修後 面積 (㎡)	受入限度 (人)	利用定員 (人)	必要基準 部屋面積 (㎡)	必要基準職員配置	
					クラス担任 (人)	その他
0歳児	66.0	20	6	29.70	2	園長・主任 各1
1歳児			10	33.00	2	週・有休代替 2
2歳児	59.5	30	18	35.64	3	障がい児等加配 1
3歳児	59.5	30	20	35.64	1	調理員 2
4歳児	59.5	30	20	35.64	1	看護師 1
5歳児	59.5	30	20	35.64	1	作業員 1
計	304.0	140	94	205.26	10	計 9

#### (3) 移転のための整備プランの検証

雲出保育園の移転に当たっては、現行の雲出幼稚園舎を改修して利活用するプランとともに、新たに雲出保育園舎を建築するプラン及び現行の雲出幼稚園舎を解体して新たに雲出保育園舎を建築するプランについても比較検討しました。

なお、概算事業費は各プランを比較検討するため、類似施設の工事単価の例を参考に試算したものであり、今後計画を進めていく中で変動します。

	改修案	新築案	建て替え案
園舎	現行雲出幼稚園舎を改修して乳児用の保育室、便所、空調設備や給食調理室等の整備と外壁、屋根、内装、建具など老朽化した施設や電気、機械などの設備を改修します。(別紙1-参考3のとおり)	津市立雲出小学校の校庭の一部を分筆し、0歳児から5歳児までの子どもの保育に必要な施設・設備を備えた新たな園舎を建築します。また、新園舎敷地までの進入路整備も必要となります。	現行雲出幼稚園舎を解体・撤去して、その跡地に0歳児から5歳児までの子どもの保育に必要な施設・設備を備えた新たな園舎を建築します。
構造	鉄筋コンクリート造平家建て		
延床面積	759㎡	約760㎡	
概算事業費 (一般財源)	1.8億円 (0.34億円)	4.6億円 (0.90億円)	4.9億円 (0.96億円)
所要工期	2020年5月まで	2022年度以降	
移転予定時期	2020年6月	整備工事完了後	

概算事業費については、現行の雲出幼稚園舎を改修する整備プランによる費用負担は、新築案、建て替え案と比較して4割以下となる見込みです。

また、所要工期は改修案が最も短期間（1年8か月）で施設整備が完了し、雲出保育園の早期移転が可能となります。一方、新築案は園舎、園庭、駐車場及び進入路の整備の期間に加え、雲出小学校の校庭の一部を敷地とするため学校運営と地域活動等に及ぼす影響について同校保護者や地域活動団体等との事前調整等にも相応の期間が見込まれ、また建て替え案は、園舎解体など工事工程が多いことから新築案と同程度の期間を要します。

以上のことから、雲出保育園の移転については津市公共施設等総合管理計画による施設の長寿命化の方針に基づき、地域の保育環境、施設の構造、整備の工程・期間、経費縮減等を総合的に勘案し最も効率的・計画的な整備方法として現行の雲出幼稚園舎を改修する整備プランが最適であると判断しました。

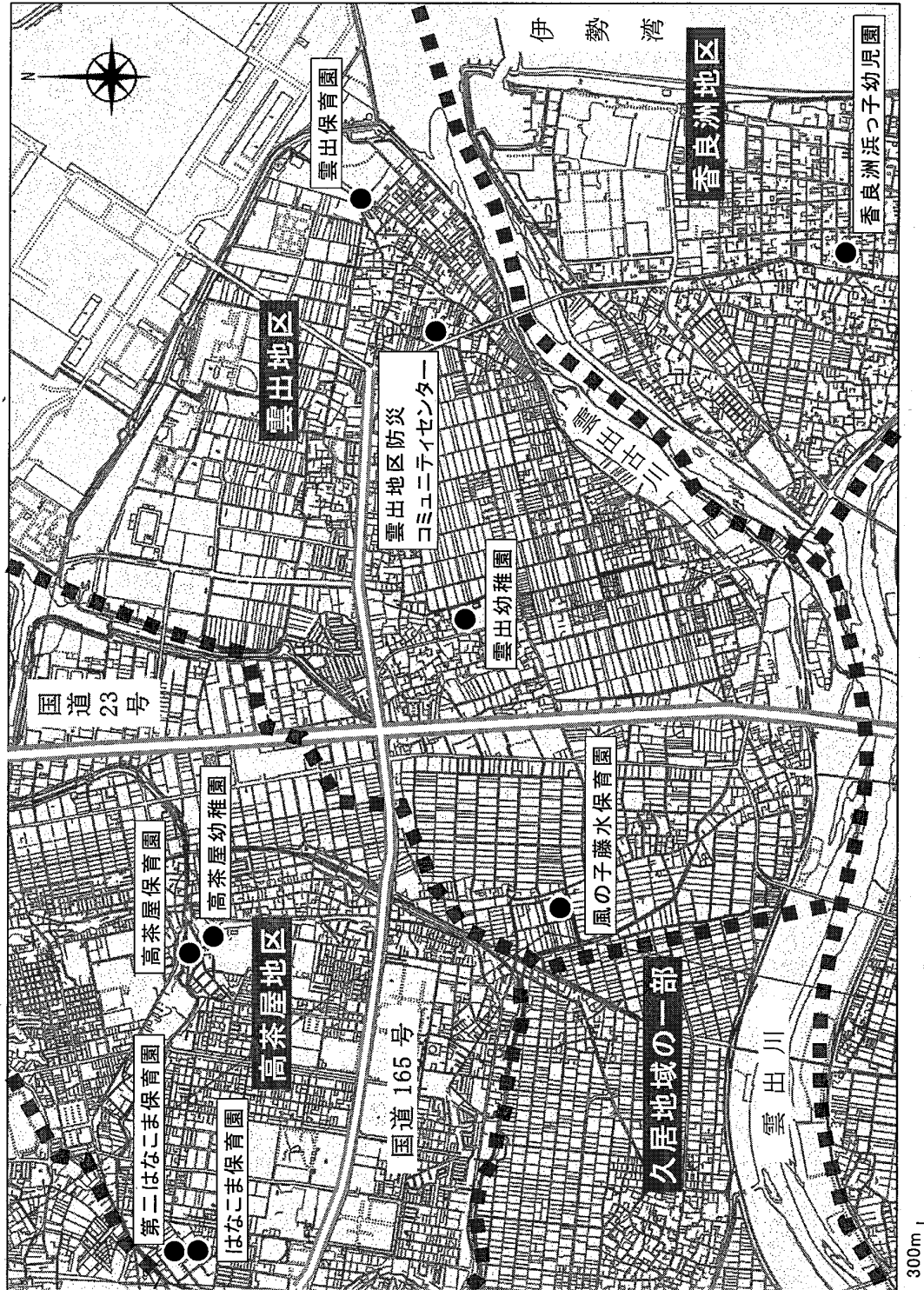
なお、施設整備に伴う事業費に対する財源については、公共施設の統合整備と合併市町村の一体性の確立に関わる事業として合併特例事業債を活用します。

## 7 今後の対応

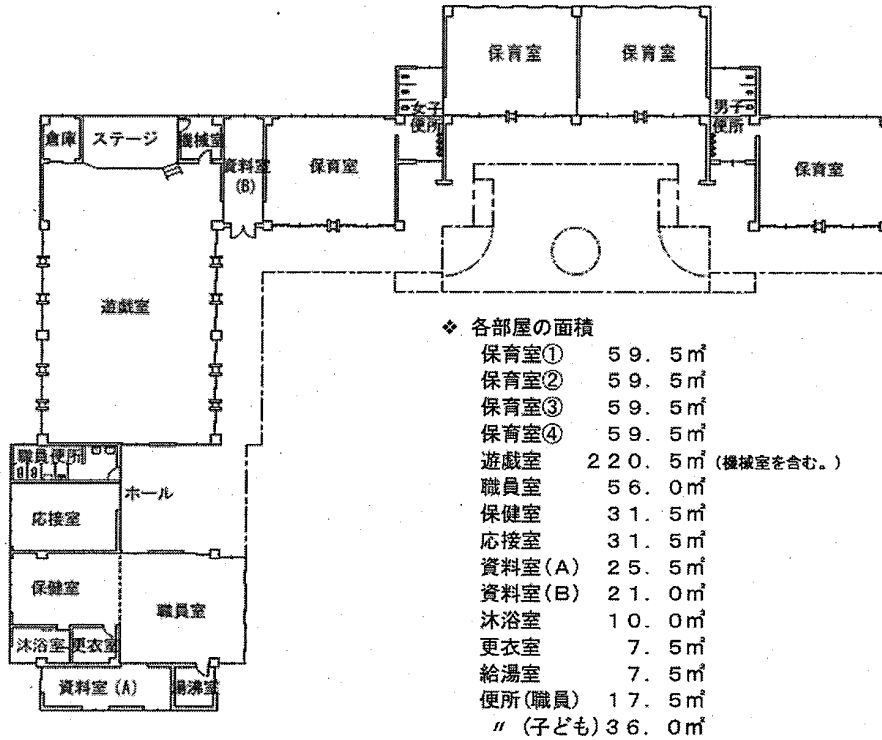
雲出地区住民、雲出保育園保護者等への説明・意見交換を行い、適宜、関連条例等の改正及び予算措置を行います。



雲出地区周辺図



1 雲出幼稚園施設概要



2 雲出幼稚園の改修案

